

第7回 International Society for Root Research (ISRR)国際会議日本開催に向けての準備

標記の件に関して、森田前会長（現 ISRR 副会長）のもとに準備が進められてきたことはご承知のことと存じます。この件につきましてこの間副会長や評議員の皆さんと議論を重ねて参りました。その結果を踏まえ、この開催準備を組織的に進めるために、組織委員会を設け本格的な準備活動を始めることを提案させていただきます。

本稿の趣旨は、会員の皆様に組織委員会への参加を呼びかけることです。以下に今までに議論されてきた組織委員会の主な任務をまとめてみました。これに対するご意見やご提案とともに、委員への立候補を募ります。職場の状況や条件等が様々おありだと思いますが、可能な範囲や形で結構ですので、我こそはと思われる方はぜひ事務局までお申し出下さい。郵便、ファックス、e-mail、電話のいずれでも結構です。とりあえずの締め切りを7月17日（土）とさせていただきます。これを受けて直ちに委員会を組織したいと思っています。

せっかくやるのですから、こちら側にとって最大限有益なものにしていきたいと思います。会員の皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

会長 山内 章

《基本方針》

会議の骨格部分に要する費用は、参加者の参加費によってまかなえるように計画する。それ以外の資金が調達できた場合には、優先順位を付けて企画を膨らませる。

《現在までの準備状況》

1) 開催時期

2002年開催予定

次回オランダでの開催時期が未定で、現在森田前会長が ISRR 会長に問い合わせ中。

2) 開催場所

現在挙がっている候補地

民間等の会議場

前橋コンベンションセンター、名古屋コンベンションセンター、京都国際会議場
大学の施設

東京大学：山上会館、安田講堂 名古屋大学：シンポジオン、豊田講堂

その他

ホテル、地方自治体の会議場（市民会館等）

《組織委員会の任務》

1) ISRR、根研究会との連絡・調整

2) 会議企画

①テーマ

②会期

③内容

例：ISRR 総会、基調講演、一般講演、ポスター発表、テーマ別分科会（ワークショップ）、特定課題に関するワーキンググループ会議（例：用語、ISRR としての出版事業）。

④人選

各進行役、総会議長、座長。招待者の選択。

⑤サテライトミーティング

必要性、可能性に応じて企画。

⑥当日のプログラム

3) 広報

①国内外への広報

②他学協会等との連絡、調整（後援、協力要請等）

4) 会計

①予算編成

〈支出〉

会場費（含機器借料）、レセプション、会場と宿舍間の交通、出版・印刷費（サーキュラー、ポスター、要旨集、プロシーディング）、通信運搬費、印刷物の発送、参加者との連絡、人件費、会議費（組織委員会）、消耗品費（看板、ポスターパネル、文具）

〈収入〉

参加費

各種助成

会議開催に関わるもの

文部省科研費（国際会議補助）

学術振興会（国際研究集会）

学術会議

地方自治体

大学

例：名古屋大学振興基金

国際コンベンション誘致センター

招待者の招聘に関わるもの

学術振興会短期招聘プログラム

企業等からの寄付、展示

②各種支払いの管理

③決算報告

5) 出版

①要旨集

②プロシーディング

例：レフェリーをつけて総説や原著論文からなる単行本を出版。

ISRR(JSRR)の出版物をこれを機会に出す。

6) エクスカーション

学術的なものとエンタテインメントの両側面が必要。開催場所にも制約を受ける。

《根研究会としての対応》

本会議を日本の研究を世界に向けて発信する場として積極的に活用する。

1) 根研究会創立10周年事業との関係

例：「根の事典」、「根ハンドブック」、「農業および園芸連載記事」等の英訳

2) 「根の研究」国際ネットワークの構築

3) 根画像データベースの構築

注) 本企画の最大の課題は資金集めにあると思われます。基本方針にもありますように、基本的には参加費の範囲で企画を考えることとなります。一方それ以外の収入源として大きな可能性があるのは、4) 会計に挙げてある各種助成金です。そこで本会議の開催に向けて組織的に申請を行うことが必要になって参ります。そのような面からの会員の皆さんからの支援もお願いいたたく存じます。